

牧草用輸入ラップフィルムの 実用性確認試験

JAしずない

小池 孝義



試験品1



試験品2



機械写真

試験目的

牧草用輸入ラップフィルムの実用性確認試験

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

グラスwind(白) (0.025mm×500mm×1800m)

慣行資材

グラスベール(白) (0.025mm×500mm×1800m)

資材使用期間

6月13日～

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
慣行品に比べ、大きな差はなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行品と比べ、特に変化はなかった。
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について
慣行品に比べ、大きな差はなかった。

モニター感想

試験品は輸入ラップであると聞いていたが、慣行品と比較しても大きな差はなかった。価格的には優位性がありそうなので今後の保管状況を確認し、使用を検討していきたいと考える。

JA担当者の感想(資材課 原課長)

試験品は輸入ラップであるため、価格的には安く設定されているという話だが、慣行品と品質的に大きな差異があっては生産者への不安を与えるため、販売は難しい。ラップフィルムは機械との相性が大きく関係してくるため、今後普及するかどうかについては数種類のラッピングマシーンで試験をしていくことが必要であると感じる。また、長期的な保管に耐えるかどうかについては、モニターの状況を継続確認し、見極めていきたいと思う。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材